

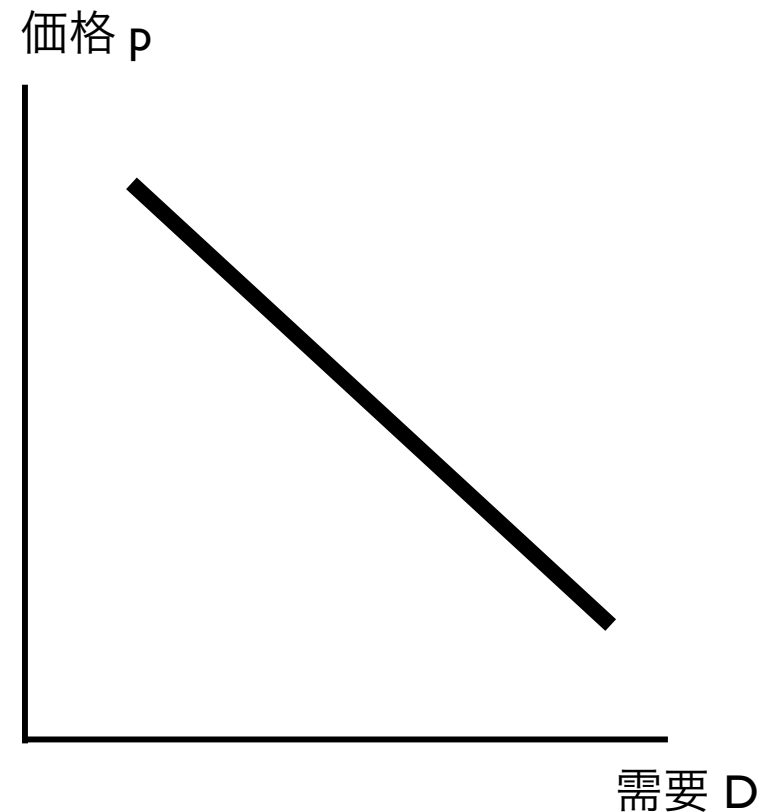
ミクロ経済学の ABC

- 商品の価格がどう決まるか、を考えるのが出発点。
- 市場、需要、供給、市場均衡
- さまざまな社会制度（経済制度や「慣習」）の存在理由を考えたり、独占や政府規制がどんなメリット・デメリットをもたらすかを考える。
- 消費者余剰、生産者余剰、死重損失
- 効用、消費者主権、パレート最適原理、補償原理（帰結主義的な功利主義）
- パレート最適原理：
全ての人の効用を現状維持もしくは改善する改革は、良い改革である。
- 補償原理：一部の人々の効用を下げる場合でも、事後的再分配で補償が可能ならば、そういう改革は行われるべきである。
- たとえば・・・価格規制（最低賃金制、医療・福祉サービスなど）
参入規制（タクシー業界、輸入自由化など）、等々
- 新古典派経済学、レッセ・フェール（自由放任主義、夜警国家、予定調和）

需要曲線 からはじめよう

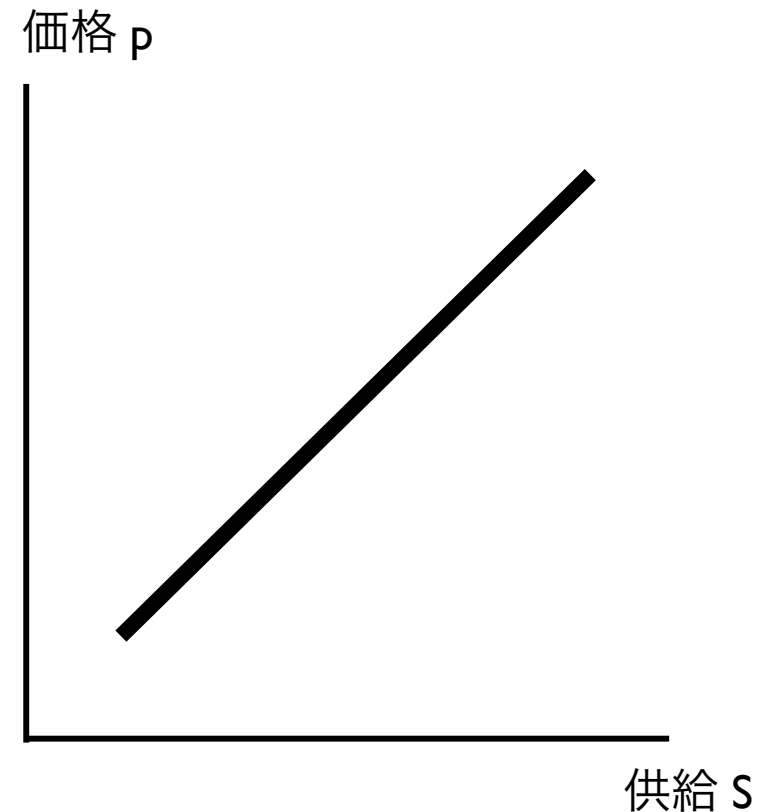
- この価格のときに、この商品を買いたい人がどれくらいいるか
- 価格が安いと需要は多くなり、価格が高いと需要は少なくなる
- 需要曲線は右下がり

- A君は1000円払っても、この商品が欲しい
- B君は300円なら、この商品を買いたい
- C君は100円なら、この商品を買ってもよい



供給曲線

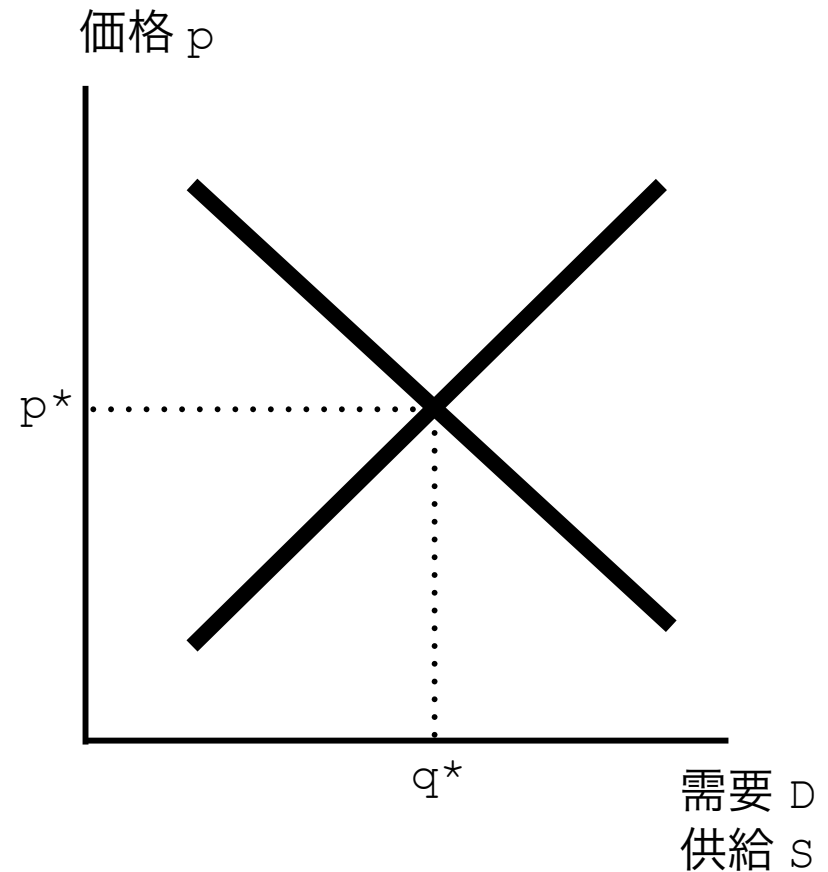
- この価格のときに、この商品を通りたい人（企業）がどれくらいいるか
 - 価格が安いと供給は少なくなり、価格が高いと供給は多くなる
 - 供給曲線は右上がり



- A社は効率的な生産体制（低コスト）で、100円でこの商品を生産して、販売できる
- B社は（A社ほど低コストでなく）、300円ならこの商品を生産販売してモトがとれる
- C社は効率が悪く高コストなので、1000円まで価格が上がらないと、この商品の生産販売には踏み切れない

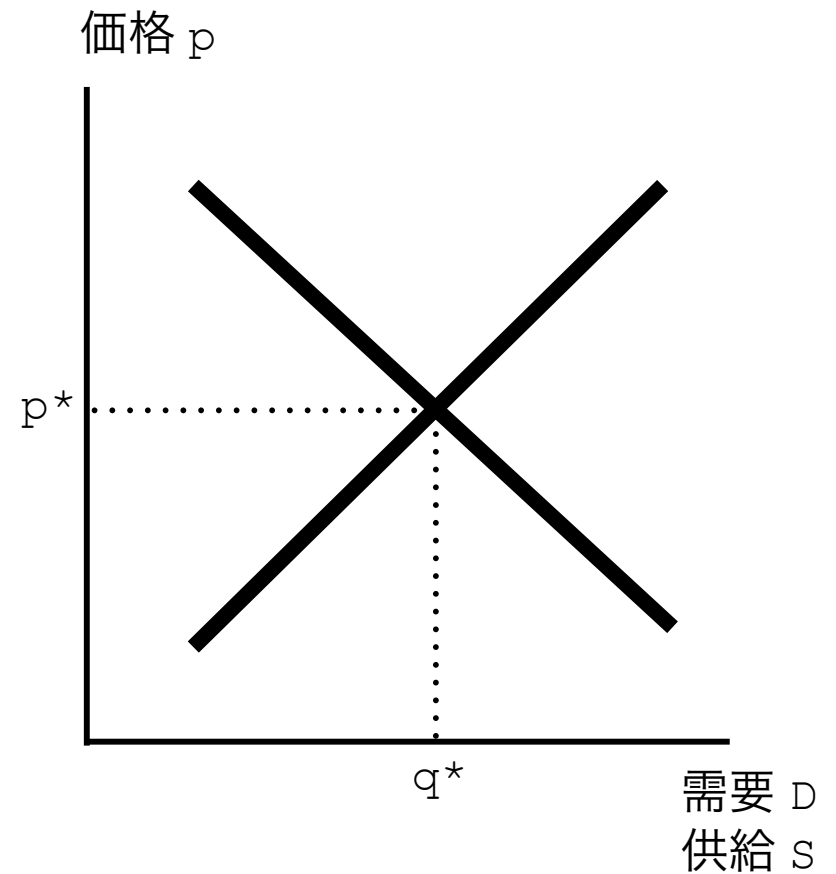
市場均衡、価格の自動調整機能

- さて・・・
この商品の価格はどう決まり、どれくらいの量が生産販売されるだろうか？
- p^* を均衡価格、 q^* を均衡取引量と呼ぶ。
- 市場参加者が自由に取引を行うならば、
価格は p^* に、取引量は q^* に落ち着くはず。
- なぜなら・・・
 - $p > p^*$ のとき
超過供給 → 価格は下がる
 - $p < p^*$ のとき
超過需要 → 価格は上がる
- 自由に取引が行われれば、
需要と供給が一致する【市場均衡】が自動的に達成される。
これを、【価格の自動調整機能】と呼ぶ。



証券市場の例

- ある会社の株価はどう決まるか？
- 供給：
この会社の株を保有していて、
この価格なら売ってしまいたいと思う人の総数
- 需要：
この会社の株を、
この価格なら買いたいと思う人の総数。
- $p > p^*$ のとき
超過供給 → せり人が価格を下げる
- $p < p^*$ のとき
超過需要 → せり人が価格を上げる
- せり人 (Auctioneer, 競売人)



証券市場の例（続き）

- いま、あるニュースが飛び込んできた。

「この会社は、画期的な新製品を研究開発した！」

この会社の株価はどうなるだろうか？

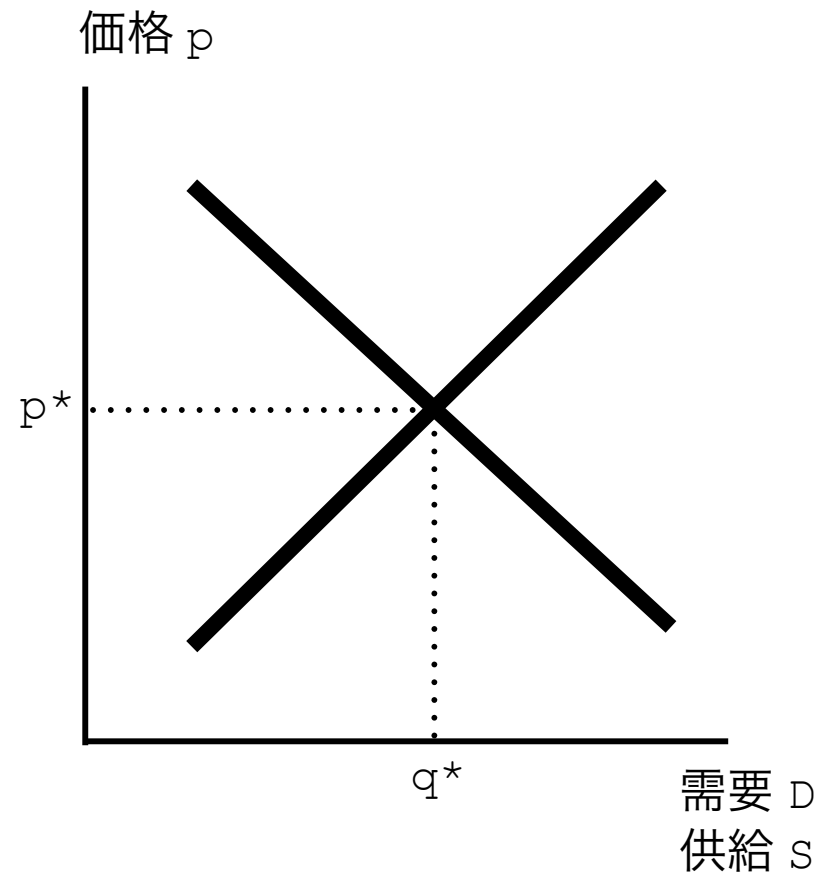
- 需要曲線が上にシフトする (shift, vi. 動く・位置を変える)
- 均衡価格と均衡取引量は？

- また、別のニュースが飛び込んできた。

「さっきのニュースはウソだ！
そればかりか、この会社は粉飾決算を
している！」

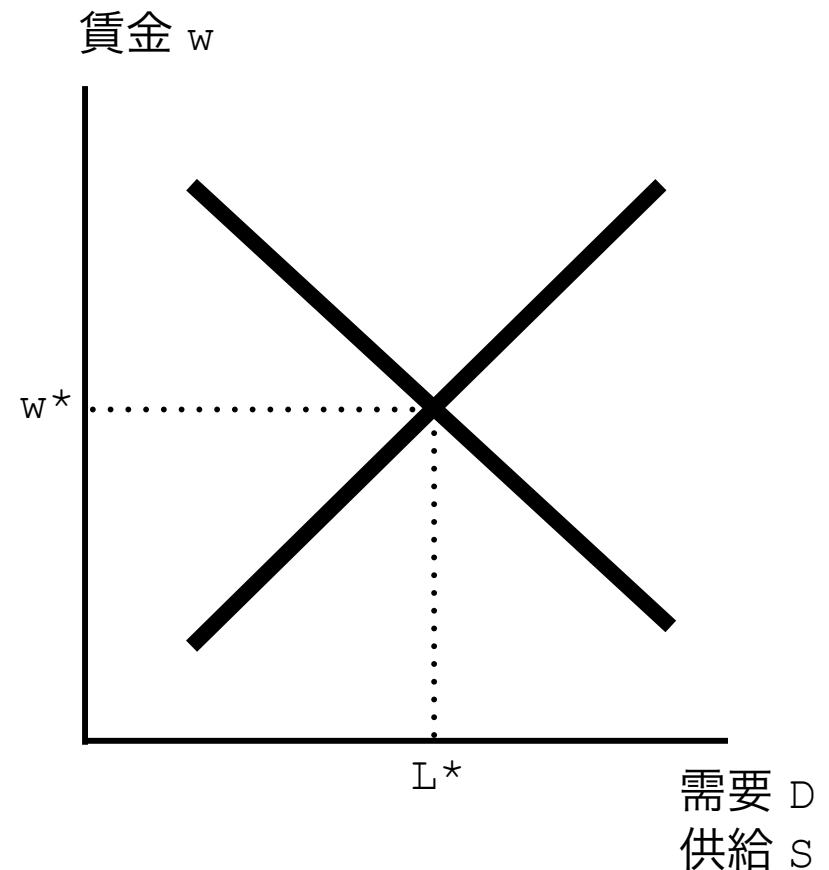
この会社の株価はどうなるだろうか？

- 需要曲線が下にシフトする
- 均衡価格と均衡取引量は？



労働市場

- 賃金はどう決まるか？
- 供給：この賃金水準（給料）なら、働きたいと思う人の総数
- 需要：この賃金水準なら、人を雇いたいと思う人（企業）の総数
- $w > w^*$ のとき
超過供給（買い手市場） → 賃金が下がる
- $w < w^*$ のとき
超過需要（売り手市場） → 賃金が上がる
- 政府が数十兆円の追加公共投資を発表。
さあ人手がたりなくなる・・・ w^* は？
- 中国経済が減速。
日本国内の企業も生産減は必至・・・ w^* は？
- アジア某国から移民が大量流入・・・ w^* は？



医療サービス市場

- 供給：この価格（料金）なら、医療サービスを提供したい（病院を開設したい、医者として働きたい、超過勤務してもよい）と思う人（企業）の総数
- 需要：この価格なら、病院にかかりたいと思う人の総数
- $p > p^*$ のとき
超過供給 → 価格が下がる（はず）
- $p < p^*$ のとき
超過需要 → 価格が上がる（はず）
- しかし、現実には・・・
日本の病院不足・医者不足は深刻。常に、
超過需要状態（気が遠くなるほどの待ち行列）
病院の待合室に毎日たむろしている老人たちの会話
「そういえば、最近、あそこのじいさんを見かけないな～」
「病気にでもなったんじゃないのかい」
- なんでだろ？

